

**【令和３年度】
都市整備部に係る事務の執行及び事業の管理についての指摘事項に対する措置状況**

監査結果	頁	所管課	指摘事項に対する措置状況
5 建築指導課の事務事業			
5.3 屋外広告物の適正な規制誘導事業			
5.3.3.1 是正指導の強化について			
宇都宮市屋外広告物は正指導実施計画では、平成26年11月から罰則規定の適用や公表制度の創設の検討が掲げられているが、これまで罰則規定の適用も公表制度の創設も実現していない。 違反広告物は減少傾向にあるものの、ゼロではなく、5.3.1.3 (5) の【経過】で記載したとおり、長年違反を続けている者（14者）も存在している。 是正指導を強化するためには、公平性の観点から、まずは屋外広告物の掲出状況を正確に把握した上で、基準との整合や公衆に及ぼす影響等を考慮し、指導エリアを定めて順次実施していく必要があると思われる。過去の経過を見ると、平成21～22年度に実態調査を実施して以来、調査されておらず、正しい是正指導ができていないのか疑念がある。 違反広告物の根絶のためには、実態調査により屋外広告物の掲出状況を把握し、罰則規定の適用や公表制度の創設についても見据えながら、効果的な是正指導を行っていくべきである。	123-124	建築指導課	実態調査につきましては、令和４年度に宇都宮駅東口重点地区、令和５年度にライトライン沿線を職員で実施し、その結果に基づき、是正指導を行ったところです。また、令和６年度は、外部委託を活用し、環状線内の国・県道沿線107k mの野立広告物1,209件の実態調査及び是正指導に取り組んでいるところです。 引き続き実態調査を計画的に実施するとともに、その結果に基づき、効果的な是正指導に取り組んでまいります。
7 公園管理課の事務事業			
7.3 指定管理者の指定			
7.3.6.1 指定管理者募集方法の見直し			
宇都宮市の公園管理課所管の指定管理者導入施設については、みずほの自然の森公園は、地域住民を主体とした団体が担うこととするため非公募となっている。これは、地域住民を主体とした団体が地域の公園を管理するものであり、利用者評価も継続して高く、非公募とすることは制度の趣旨に反しないものと考ええる。一方、八幡山公園及び森林公園等は公募となっているが、それぞれ直近の募集に関して１者のみの応募となっており、八幡山公園は、提案審査の審査項目に「動物飼育、管理に係る取組内容」を追加し、評価に反映することにより動物を取り扱っている事業者の参画を促したものの、２回連続１者のみの応募となっている。利用者満足度の推移を見ると、森林公園等については、サイクリングターミナル（スポーツ振興課所管）の評価が高いとはいえない状況が続いており、八幡山公園については、指定管理者制度導入によって評価が高まったとまでは言えない状況と考える。地域住民を主体とする団体である等の理由もない以上、公募しているとはいえ、複数者の応募が見込みにくい条件で募集することは、サービスの提供者を民間事業者等から幅広く求めることに意義があるとした指定管理者の趣旨に合致しないものと考ええる。よって、今回の募集においては、複数者の応募を得られるよう募集方法を更に見直すべきである。なお、募集方法の見直し方法として下記２点も有効ではないかと考える。 １点目は、両公園とも、別途施設ごとの発注とすることである。 宇都宮市は、敷地全体を利用したイベント開催や人員配置等の効率化などのサービス向上を図るため、両公園とも公園内の全ての施設を一体発注している。一体発注による効果は否定しないが、両公園についてはそれぞれ特徴ある施設（動物舎、森林公園）を有することを考慮する必要があると考える。これらの施設を含めて一体発注することにより、複数者の応募が得られにくくなっていることが考えられる。両公園とも、上記以外の施設に関する業務については、八幡山公園については、受付、窓口対応、交通公園、展望塔の保守運営及び樹木等植栽の維持管理等、また、森林公園等については、受付、窓口対応、宿泊等のための施設の提供及び自転車貸付け等となっている。これらの業務については、上記施設のような特徴は認められず、市内事業者に限ったとしても複数者が応募可能と考える。 ２点目は募集期間経過後も募集要項等を閲覧可能とすることである。指定管理者募集期間中、宇都宮市のホームページで募集要項等がダウンロードできるようにになっているが、募集期間を過ぎると該当ページは閲覧できず、別段のページから募集要項等をダウンロードすることもできない。次回募集において、複数者の応募を得るためには、募集期間経過後も、募集要項等を継続してダウンロード可能にすることで、潜在的な応募者の掘り起こしに資するものと考ええる。	176-177	公園管理課 観光MICE推進課	平成29年度の八幡山公園指定管理者の募集の際にはペットショップ等の応募を見込んでいたところ、１者のみの応募に留まったことから、御指摘を踏まえまして、複数者の応募を得られるよう、令和４年度の指定管理者公募にかかる地域要件を「市外（要件なし）」に広げるとともに、参考資料として募集期間経過後も募集要項等を市ホームページ上で閲覧可能とすることといたしました。 また、森林公園につきましては、多くの市民に利用されるとともに、自然を活かした体験型観光地として観光客を誘客できるよう、民間活力を活用しながら、魅力向上に向けた再整備を行うこととしているため、令和５年度の指定管理者の募集の際には、可能な限り事業者において提案を深められるよう、概ね３か月の募集期間を設定するとともに、募集期間中に現地説明会を開催いたしました。また、募集要項等について、御指摘のとおり募集期間経過後も閲覧が可能にしております。 施設ごとの発注につきましては、八幡山公園は、複合的な施設配置となっており、人員配置や管理面において一括管理の方が効率的であると考えております。また、森林公園は、自然に親しむ環境を提供する公園であり、キャンプやサイクリングをはじめ、公園内の敷地全体を利用し、様々な事業の一体的な運営管理による誘客促進が望ましいと考えております。御指摘の趣旨につきましては今後の指定管理業務の参考とさせていただきます。

**【令和３年度】
都市整備部に係る事務の執行及び事業の管理についての意見に対する措置状況**

監査結果	頁	所管課	意見に対する措置状況
4 景観みどり課の事務事業			
4.1 景観計画に基づく景観行政の推進（規制・誘導を含む）			
4.1.3.4 景観形成重点地区等指定後のフォローアップ強化			
宇都宮市では、地域の特性を踏まえて特に良好な景観形成を図る必要がある地域等を景観形成重点地区等として指定しており、令和3年に大谷地区を指定し、現在もLRT沿線のうちJR宇都宮駅東口から国道4号までの区間や、金川地区などにおいて指定等に向けた取組を行っているところである。 景観形成重点地区等の新規指定は重要事務であるが、届出制による協議誘導型の景観形成を図る宇都宮市においては、指定後もフォローアップを行い、市民の景観意識を高め、市民主体の景観づくりを促進することも、新規指定以上に重要と考える。 現在、宇都宮市の事業評価や施策カルテにおいて、景観形成重点地区等については指定に向けた取組のみが評価対象となっている。また、助成についても、指定に向けた活動は助成対象であるが、指定後における活動費は助成の対象となっていない。 指定後の取組（推進協議会の継続開催等）についても、事業評価等の評価対象とすることや、指定後の活動費も助成対象とすることにより、より一層指定後のフォローアップを強化すべきと考える。	102	景観みどり課	景観形成重点地区等指定後のフォローアップ強化につきましては、継続的な活動が活性化できるよう、現在取組を推進している団体などに地元主体の活動体制や手法等について意見を聞きながら制度の見直しに取り組むとともに、指定後の取組についても評価を行ってまいります。
7 公園管理課の事務事業			
7.5 公園施設改修事業			
7.5.3.1 公園施設改修状況のデータベース強化			
利用者の安全に特に直結すると考えられる遊具の更新について、進捗の遅れによる安全上の問題がないか、ヒアリングを実施した結果、遊具の更新は、進捗は低くなっているが、毎年資格保有者による点検・診断を行い、その結果を基に、健全度が低い遊具については、速やかに使用停止し、修繕可能なものは修繕を実施しているため、安全上の問題はないとの回答を得た。その上で、改修の必要性が高いとされる健全度判定C・Dの遊具が多い公園を優先して、改修を実施しているとのことである。 監査の結果、宇都宮市が実施している健全度が低い遊具への速やかな対応を、システムのデータベースに残すことが管理上より望ましいと考える。なぜなら、毎年遊具の健全度判定についても修繕履歴等と併せて一元管理することにより、公園施設改修の優先順位を付ける際はもとより、遊具情報の蓄積、保存、共有に資することが期待でき、また、遊具の点検結果や修繕履歴及び対応状況等を公表することも容易になると考えるためである。 よって、既に電子化されている公園管理台帳に、毎年の遊具等の健全判定や修繕履歴等の情報を盛り込む等、公園情報管理システムの改修もしくは新たなシステムの導入を検討すべきと考える。	180-181	公園管理課	公園の遊具更新における健全度判定につきましては、表計算ソフトを用いて公園施設管理者間でデータの共有を図りながら、市民が安全に利用できるよう遊具の適正管理を行ってきたところであります。健全度判定データについては、更新履歴と併せて新公園情報管理システムの構築時に一元管理できるようにしています。